

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	ネットワークシステム	
科目基礎情報							
科目番号		0093		科目区分	専門 / 必修選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		電気電子工学科		対象学年	5		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		適宜指示する					
担当教員		武市 義弘					
到達目標							
輪講形式での発表によって幅広い通信技術に関する基礎，ネットワークに関する基礎などを習得することを目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		テーマに関する応用技術を用いて独自の問題解決を説明できる。		テーマに関する応用技術を理解・説明できる。		テーマに関する基礎技術を理解できる。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		輪講形式での発表により，幅広い通信技術に関する基礎を学習する。また，4 年次の情報通信とネットワーク演習で学んだ内容についてより理解を深める。					
授業の進め方・方法		輪講発表40 %，プレゼン資料30 %，配布資料30 %で評価し，総合評価60 点以上を合格とする。輪講発表は，図表の説明，発表態度，質問に対する受答え等について評価する。プレゼン資料と配布資料は，基本構成，図表の記述，まとめの内容等について評価する。					
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	輪講ガイダンス1		各自の輪講テーマを決め，テーマの概要について理解できる。		
		2週	輪講ガイダンス2		各自の輪講テーマを決め，テーマの概要について理解できる。		
		3週	第1回輪講		各自の輪講テーマの背景について説明できる。		
		4週	第1回輪講		各自の輪講テーマの背景について説明できる。		
		5週	輪講ガイダンス3		発表の仕方や資料作成の注意点を理解習得できる。		
		6週	第2回輪講		各自の輪講テーマの目的と概要について説明できる。		
		7週	第2回輪講		各自の輪講テーマの目的と概要について説明できる。		
		8週	第3回輪講		各自の輪講テーマの実験方法や装置の説明ができる。		
	4thQ	9週	第3回輪講		各自の輪講テーマの実験方法や装置の説明ができる。		
		10週	第4回輪講		各自の輪講テーマの実験結果や考察の説明ができる。		
		11週	第4回輪講		各自の輪講テーマの実験結果や考察の説明ができる。		
		12週	第5回輪講		各自の輪講テーマのまとめの説明ができる。		
		13週	第5回輪講		各自の輪講テーマのまとめの説明ができる。		
		14週	第6回輪講		各自の輪講テーマを総括し、理解・説明ができる。		
		15週	第6回輪講		各自の輪講テーマを総括し、理解・説明ができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。		3	
				インターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。		3	
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	情報	プログラミング言語を用いて基本的なプログラミングができる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	40	0	0	0	0	40
専門的能力	0	40	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	20	0	0	0	0	20